

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2014-535187
(P2014-535187A)

(43) 公表日 平成26年12月25日(2014.12.25)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
HO4N 21/431 (2011.01)	HO4N 21/431	5C164
HO4N 21/258 (2011.01)	HO4N 21/258	
GO6Q 30/02 (2012.01)	GO6Q 30/02 150	
HO4H 20/28 (2008.01)	HO4H 20/28	
HO4H 20/91 (2008.01)	HO4H 20/91	

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2014-533191 (P2014-533191)
 (86) (22) 出願日 平成24年9月24日 (2012. 9. 24)
 (85) 翻訳文提出日 平成26年3月26日 (2014. 3. 26)
 (86) 国際出願番号 PCT/KR2012/007637
 (87) 国際公開番号 W02013/048068
 (87) 国際公開日 平成25年4月4日 (2013. 4. 4)
 (31) 優先権主張番号 10-2011-0096671
 (32) 優先日 平成23年9月26日 (2011. 9. 26)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

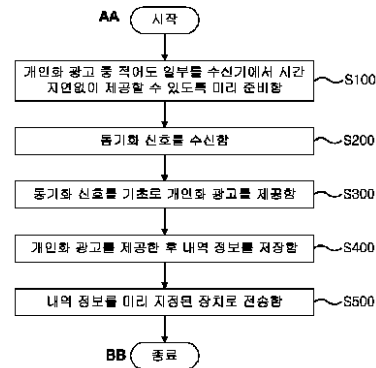
(71) 出願人 510324920
 エニーポイント メディア グループ
 ANYPOINT MEDIA GROUP
 米国 91505 カリフォルニア パー
 バンク スイート 990 ウェスト オ
 リーブ アベニュー 3500
 (74) 代理人 100101856
 弁理士 赤澤 日出夫
 (72) 発明者 パク・ウォンジャン
 大韓民国京畿道463-731, 城南市盆
 唐区板橋路430, 107棟402号 (二
 梅洞 アルムマウル建栄アパート)
 Fターム(参考) 5C164 FA25 GA03 MA05S SC11P UB38S
 UB91P UC32S YA04 YA07
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 受信機による個人化広告の提供方法

(57) 【要約】

本発明は、放送信号を受信して提供する受信機によっ
 て行われる個人化広告の提供方法であって、(a)前記
 個人化広告のうち少なくとも一部を前記受信機によっ
 て無遅延で提供することができるように予め用意するステ
 ップと、(b)同期化信号を受信するステップと、(c)
 前記同期化信号を基に前記個人化広告を提供するステ
 ップと、を有する受信機による個人化広告の提供方法に
 関するものである。本発明によれば、放送信号を受信し
 て提供する受信機によって、同期化信号を基に個人化
 広告を無遅延で提供することができる。

【選択図】 図1



S100 ... Prepare personal advertisement so as to be
 able to provide at least a portion of same without
 time delay to receiver
 S200 ... Receive synchronization signal
 S300 ... Provide personalized advertisement on basis
 of synchronization signal
 S400 ... Store detailed history information after
 providing personalized advertisement
 S500 ... Transmit detailed history information to pre-
 selected apparatus
 AA ... Start
 BB ... End

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送信号を受信し提供する受信機によって行われる個人化広告の提供方法であって、
 (a) 前記個人化広告のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるように予め用意するステップと、
 (b) 同期化信号を受信するステップと、
 (c) 前記同期化信号を基に前記個人化広告を提供するステップと、
 を有する受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 2】

前記ステップ (a) は、前記受信機の識別情報、前記受信機の使用者の識別情報、前記受信機の位置情報および現在の時間情報のうち少なくとも一つを基に、予め所定の個人化広告提供装置から前記個人化広告を受信し保存するステップを有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。 10

【請求項 3】

前記ステップ (a) は、前記個人化広告のうち少なくとも一部を信号処理して前記受信機のメモリー領域内に予めローディングするステップを有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 4】

前記放送信号は、放送プログラムおよび一つ以上の広告を有し、
 前記同期化信号は、前記一つ以上の広告を提供する時間帯のうち少なくとも一部に該当する時間帯を識別するための信号である、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。 20

【請求項 5】

前記同期化信号は、前記放送信号を伝送する主体および前記放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つによって生成される、請求項 4 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 6】

前記ステップ (b) は、前記放送信号に含まれた前記同期化信号を受信するステップを有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 7】

前記ステップ (b) は、前記放送信号が伝送される放送ネットワークとは別の通信ネットワークを通じて前記同期化信号を受信するステップを有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。 30

【請求項 8】

前記同期化信号は、前記放送信号に挿入されて 1 回以上前記受信機に伝送される、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 9】

前記同期化信号は、前記個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間および持続時間を含む、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法

【請求項 10】

前記ステップ (c) は、
 前記同期化信号から前記開始時間および前記持続時間を抽出するステップと、
 前記開始時間に前記個人化広告を提供するステップと、
 前記持続時間が経過した後、前記個人化広告の提供を止め、前記放送信号を提供するステップと、
 を含む、請求項 9 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。 40

【請求項 11】

前記ステップ (c) は、前記持続時間が経過する前に、前記放送信号のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意するステップをさらに有する、請求項 10 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。 50

【請求項 1 2】

前記同期化信号は、前記個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間を表す第 1 の同期化信号、および前記個人化広告を提供することができる時間帯の終了時間を表す第 2 の同期化信号を含む、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 1 3】

前記ステップ (c) は、

前記第 1 の同期化信号から前記開始時間を抽出するステップと、

前記開始時間に前記個人化広告を提供するステップと、

前記第 2 の同期化信号から前記終了時間を抽出するステップと、

前記終了時間に前記個人化広告の提供を止め、前記放送信号を提供するステップと、

を有する、請求項 1 2 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

10

【請求項 1 4】

前記ステップ (c) は、前記終了時間前に、前記放送信号のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意するステップをさらに有する、請求項 1 3 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 1 5】

(d) 前記個人化広告を提供した後、内訳情報を保存するステップと、

(e) 前記内訳情報を予め指定された装置で伝送するステップと、

をさらに有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 1 6】

前記個人化広告はデータアプリケーションを有し、

前記ステップ (a) は、前記データアプリケーションをバックグラウンド状態で実行するステップを有し、

前記ステップ (c) は、

前記データアプリケーションをフォアグラウンド状態に切り替えて実行するステップと

20

、前記データアプリケーションの実行を終了し、前記データアプリケーションをバックグラウンド状態に切り替えるか、前記データアプリケーションを消滅させるステップと、

を有する、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

【請求項 1 7】

前記放送信号はデジタル放送信号である、請求項 1 に記載の受信機による個人化広告の提供方法。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は受信機による個人化広告の提供方法に関するものであり、具体的には、放送信号を受信して提供する受信機において、同期化信号を基に個人化広告を無遅延で提供することができる受信機による個人化広告の提供方法に関するものである。

【背景技術】

【0002】

技術の発展と視聴者の需要変化に伴い、放送環境が変化しつつある。従来のアナログ放送からデジタル放送に転換されつつある。

40

【0003】

以下の本願明細書においての「デジタル放送」は、デジタル地上波放送だけでなく、デジタルケーブル放送とデジタル衛星放送、そして超高速通信ネットワークを用いた所謂 IP-TV サービス、地上波および衛星 DMB サービス、通信網を通じて提供される VOD サービスなどを指す。

【0004】

また、「放送信号」は、デジタル放送、または既存のアナログ放送で使われる信号を指す。放送信号は、一般的に放送プログラムと共に一つ以上の広告を含むよう構成されてい

50

る。

【 0 0 0 5 】

従来のアナログ放送、またはデジタル放送において、放送プログラムと共に一つ以上の広告が放送ネットワーク、または通信ネットワークを通じて受信機に伝送され、受信機は放送プログラムおよび一つ以上の広告を信号処理して時間順に視聴者に提供する。

【 0 0 0 6 】

例えば、地上波デジタル放送の場合、地上波デジタル放送事業者は放送プログラムおよび一つ以上の広告を含む放送信号を、放送ネットワークを通じて受信機に伝送する。

【 0 0 0 7 】

受信機は放送信号を受信して信号処理し、視聴者に提供する。

10

【 0 0 0 8 】

特に地上波デジタル放送の場合、受信機は単純に放送信号を受信および信号処理して提供するだけであり、個人化された広告は提供することができない。

【 0 0 0 9 】

地上波デジタル放送において個人化された広告を提供するためには、地上波デジタル放送事業者が放送信号に各個人に適した多数の広告を含めて受信機に伝送しなければならない。しかし、放送信号を伝送するために使われる帯域幅には限界があり、放送信号に各個人に適した多数の広告を含めて伝送するのは実質的に不可能である。

【 0 0 1 0 】

その他のデジタル放送においても、放送信号を伝送するために使われる帯域幅には限界があり、各個人に適した多数の広告を含めて伝送するのは実質的に不可能である。

20

【 0 0 1 1 】

一方、特に放送プログラムを提供する主体と、放送信号を受信機に伝送する主体とが区分されている場合、例えば、ケーブル放送、デジタルケーブル放送やIP-TVサービスなどの場合、地域毎に区分された広告を提供することができる。

【 0 0 1 2 】

例えば、放送プログラムを供給する主体（以下、「プログラム供給者」とも呼ぶ）および放送プログラムを放送信号で伝送する主体（以下、ネットワーク事業者とも呼ぶ）は、各々広告時間を区分して各自の広告を受信機に提供することができる。プログラム供給者は、50分は放送プログラムを提供し、残り10分は広告を提供することができる。この場合、プログラム供給者は自身に割り当てられた10分の広告時間のうち、8分は自身が直接指定してネットワーク事業者に提供し、残り2分はネットワーク事業者に割り当てる。ネットワーク事業者は、プログラム供給者が提供する放送プログラム、プログラム供給者に提供した広告、そして自身に割り当てられた2分の広告時間に対する広告を含む放送信号を受信機に提供する。

30

特にケーブル放送やデジタルケーブル放送の場合、ネットワーク事業者は各地域毎に存在する。地域毎に存在するネットワーク事業者は自身に割り当てられた2分の広告時間に広告を提供する。このようなネットワーク事業者が提供する広告は、特に当該地域内の業者に関する広告、すなわち、ローカル広告を含むことが多い。

【 0 0 1 3 】

しかし、このようなローカル広告もまた、各受信機に特化された広告を提供することは実質的に不可能である。上述したように放送信号を伝送するために使われる帯域幅に限界があるが故に、各個人に適した多数の広告を含めて伝送することは実質的に不可能である。

40

【 0 0 1 4 】

また、ローカル広告を提供するため、プログラム提供者が伝送する信号に応じてネットワーク事業者は自身のローカル広告を提供する。しかし、プログラム提供者が伝送する信号は、例えば、キュートーン(cue tone)の形で提供されるため、正確な同期化は難しいという短所がある。

【 0 0 1 5 】

50

これらの短所を改善するための先行技術として、例えば、株式会社ALTI CASTによって出願され、2009年2月12日に公開された「個人化された広告の提供方法」という名称の技術（特許文献1）がある。この技術は、複数の広告およびこれら各々にマッチングされた広告制御データを保存する広告システムを開示している。前記広告システムは複数の広告およびこれら各々にマッチングされた広告制御データを使用者受信機に伝送し、使用者受信機は使用者変数と各広告制御データを比較して個人化された広告を提供する。

【0016】

しかし、この技術は、放送信号とは別途に複数の広告および広告制御データを提供する構成を開示しているが、上述のように受信機側に複数の広告および広告制御データを伝送するため、受信機は受信機に適した広告でない広告までもを全て受信しなければならない短所がある。

10

【0017】

また、株式会社KTによって出願され、2010年6月24日に公開された「地域ターゲティング広告の提供方法およびシステム」という名称の技術（特許文献2）は、地域ターゲティング広告を提供する方法を開示している。

【0018】

この技術は、広告に広告属性コードを地域に基づいて設定し、セットトップボックスは各々地域コードに適した広告をダウンロードして提供する構成を開示している。しかし、この場合も、各セットトップボックスが放送プログラムと共に各々地域コードに適した広告をダウンロードして提供するため、ネットワークにかなりの負荷が発生し、無遅延で広告を提供することは難しいという短所が存在する。また、地域コードを比較するために、セットトップボックス管理サーバなどの追加的な構成を要するという短所も存在する。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0019】

【特許文献1】韓国特開10-2009-0015836号公報

【特許文献2】韓国特開10-2010-0069379号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

30

【0020】

本発明の目的は、放送信号を受信して提供する受信機において、同期化信号を基に個人化広告を無遅延で提供することができる受信機による個人化広告の提供方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0021】

前記技術的課題を達成するために、本発明は、放送信号を受信して提供する受信機によって行われる個人化広告の提供方法において、（a）前記個人化広告のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるように予め用意するステップと、（b）同期化信号を受信するステップと、（c）前記同期化信号を基に前記個人化広告を提供するステップと、を含む受信機による個人化広告の提供方法を提供する。

40

【0022】

本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ（a）は、前記受信機の識別情報、前記受信機の使用者の識別情報、前記受信機の位置情報および現在時間情報のうち少なくとも一つを基に、予め所定の個人化広告提供装置から前記個人化広告を受信して保存するステップを有する。

【0023】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ（a）は、前記個人化広告のうち少なくとも一部を信号処理し、前記受信機のメモリー領域内に予めローディングするステップを有する。

50

【 0 0 2 4 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記放送信号は、放送プログラムおよび一つ以上の広告を有し、前記同期化信号は、前記一つ以上の広告を提供する時間帯域のうち少なくとも一部に該当する時間帯域を識別するための信号である。

【 0 0 2 5 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記同期化信号は、前記放送信号を伝送する主体および前記放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つによって生成される。

【 0 0 2 6 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (b) は、前記放送信号に含まれた前記同期化信号を受信するステップを有する。

10

【 0 0 2 7 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (b) は、前記放送信号が伝送される放送ネットワークとは別の通信ネットワークを通じて前記同期化信号を受信するステップを有する。

【 0 0 2 8 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記同期化信号は前記放送信号に挿入され、1回以上前記受信機に伝送される。

【 0 0 2 9 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記同期化信号は、前記個人化広告を提供することができる時間帯域の開始時間および持続時間を含む。

20

【 0 0 3 0 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (c) は、前記同期化信号から前記開始時間および前記持続時間を抽出するステップと、前記開始時間に前記個人化広告を提供するステップと、前記持続時間が経過した後、前記個人化広告を提供するのを止め、前記放送信号を提供するステップを有する。

【 0 0 3 1 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (c) は、前記持続時間が経過する前に、前記放送信号のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意するステップをさらに有する。

30

【 0 0 3 2 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記同期化信号は、前記個人化広告を提供することができる時間帯域の開始時間を表す第1の同期化信号、および前記個人化広告を提供することができる時間帯域の終了時間を表す第2の同期化信号を有する。

【 0 0 3 3 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (c) は、前記第1の同期化信号から前記開始時間を抽出するステップと、前記開始時間に前記個人化広告を提供するステップと、前記第2の同期化信号から前記終了時間を抽出するステップと、前記終了時間に前記個人化広告を提供するのを止め、前記放送信号を提供するステップと、を有することができる。

40

【 0 0 3 4 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記ステップ (c) は、前記終了時間前に、前記放送信号のうち少なくとも一部を前記受信機によって無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意するステップをさらに有する。

【 0 0 3 5 】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、(d) 前記個人化広告を提供した後、内訳情報を保存するステップと、(e) 前記内訳情報を予め指定された装置で伝送するステップと、をさらに有する。

50

【0036】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記個人化広告はデータアプリケーションを有し、前記ステップ(a)は、前記データアプリケーションをバックグラウンド状態で実行するステップを有し、前記ステップ(c)は、前記データアプリケーションをフォアグラウンド状態に切り替えて実行するステップと、前記データアプリケーションの実行を終了し、前記データアプリケーションをバックグラウンド状態に切り替えるか、前記データアプリケーションを消滅(kill)させるステップと、を有する。

【0037】

また、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、前記放送信号はデジタル放送信号である。

10

【発明の効果】

【0038】

本発明によれば、放送信号を受信し提供する受信機によって、同期化信号を基に、個人化広告を無遅延で提供することができる。

【0039】

特に、放送信号を伝送する主体、或いは放送プログラムを提供する主体は、同期化信号だけを受信機に提供するため、個人化広告のために使用されるネットワーク負荷を最小限にすることができる。

【0040】

また、受信機は、個人化された広告を予め用意した後、同期化信号を基に提供することができるため、無遅延で個人化広告を視聴者に提供することができる。すなわち、同期化信号を基に、受信機は正確に個人化広告を行う時間帯域を抽出して個人化広告を提供することができる。

20

【0041】

また、データアプリケーションを提供する場合、受信機はデータアプリケーションを予めバックグラウンド状態で実行した後、同期化信号に応じてデータアプリケーションをフォアグラウンド状態に切り替えて実行することができるため、データアプリケーションの実行に伴う遅延時間を最小限にすることもできる。

【0042】

また、放送信号を伝送する主体、および放送プログラムを提供する主体各々から、同期化信号を提供することができるため、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体各々から、各自に割り当てられた広告時間内に個人化広告を視聴者に提供することができる。また、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体各々から、当該個人化広告を提供することに伴う収益を創出することができる。

30

【図面の簡単な説明】

【0043】

【図1】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法が実行されるシステム環境を示す図面である。

【図2】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法の例示的なフローチャートである。

40

【図3】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS100の例示的なフローチャートである。

【図4】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS200の例示的なフローチャートである。

【図5】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS300の例示的なフローチャートである。

【図6】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS300の他の例示的なフローチャートである。

【図7】本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、データアプリケーシ

50

ョンを提供する方法の例示的なフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0044】

以下、本発明の受信機による個人化広告の提供方法の実施例を添付した図面を参照し、より具体的に説明する。

【0045】

図1は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法が実行されるシステム環境を示す図面である。

【0046】

図1を参照すると、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法が実行されるシステム環境は、受信機100、プログラム供給者サーバ200、ネットワーク事業者サーバ300、および個人化広告提供装置400を含んでいる。

【0047】

受信機100は、放送信号を受信し信号処理して提供する。放送信号は放送プログラムおよび一つ以上の広告を含む。一方、受信機100は、個人化広告提供装置400から個人化広告を受信し保存した後、同期化信号に応じて個人化広告を提供することもできる。受信機100には、例えば、セットトップボックス形態や、ディスプレイ装置と一体化した形態がある。

【0048】

プログラム供給者サーバ200は、ネットワーク事業者サーバ300に放送プログラムを提供する。ネットワーク事業者サーバ300は、放送信号を受信機100に伝送する。プログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つは放送信号に一つ以上の広告を挿入することができる。また、プログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つは各々同期化信号を生成することもできる。プログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300は各々別の主体によって運営されたり、或いは同じ主体によって運営されたりする。

【0049】

個人化広告提供装置400は多数の個人化広告を保存する。個人化広告提供装置400は、受信機100の要請によって受信機に適した個人化広告を受信機100に伝送することができる。

【0050】

個人化広告提供装置400は、例えば、プログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つを運営する主体によって運用されるが、望ましくは別の主体によって運営されることが望ましい。

【0051】

以下、図1のシステム環境を参照し、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法をより詳しく説明する。

【0052】

図2は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法の例示的なフローチャートである。

【0053】

まず、受信機100は、個人化広告のうち少なくとも一部を受信機100で無遅延で提供できるように予め用意する(S100)。

【0054】

ステップS100について、図3を参照し詳しく説明する。

【0055】

図3は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS100の例示的なフローチャートを示す図面である。

【0056】

10

20

30

40

50

図3を参照すると、例えば、受信機100は、受信機100の識別情報、受信機100の使用者の識別情報、受信機100の位置情報、および現在時間情報のうち少なくとも一つを基に、個人化広告提供装置400から個人化広告を予め受信し保存する(S110)。

【0057】

従来では、放送プログラムと連動して個人化広告を受信したり、または放送プログラムに連動される多数の広告を受信したりしていたため、放送ネットワークに過負荷が発生していたが、本発明によれば、ステップS110を通じて予め個人化広告を受信することができる。また、ステップS110を通じて個人化広告が予め受信機100内に保存されるため、必要に応じて遅延時間を最小限にしながら個人化広告が提供される。

10

【0058】

一方、遅延時間をより短縮するため、個人化広告のうち少なくとも一部を信号処理し、受信機100のメモリー領域内に予めローディングすることができる(S130)。

【0059】

すなわち、ステップS110を通じて受信した個人化広告をハードディスクのようにデータ伝送速度が遅い保存装置に保存するのではなく、より伝送速度の高いメモリー領域内に保存することができる。また、例えば、個人化広告がMPEGなどの規格によるデータである場合、予め信号処理を行った後、メモリー領域内にローディングすることができる。ステップS130を通じて、個人化広告を提供するのに所要する時間をより短縮することができる。

20

【0060】

また図2を参照すると、次に、受信機100は同期化信号を受信する(S200)。

【0061】

上述した通り、放送信号は放送プログラムおよび一つ以上の広告を含む。本発明において、同期化信号は、放送信号に含まれる一つ以上の広告を提供する時間帯のうち少なくとも一部に該当する時間帯を識別するための信号を指している。本願発明によれば、同期化信号を基に正確に個人化広告を提供することができる時間帯を抽出することができる。

【0062】

同期化信号は、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つによって生成される。

30

【0063】

例えば、放送信号を伝送する主体は、その主体に割り当てられた広告時間のうち少なくとも一部を本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法を用いて、個人化広告を提供するために割り当てることができる。

【0064】

また、放送プログラムを提供する主体もまた、その主体に割り当てられた広告時間のうち少なくとも一部を本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法を用いて、個人化広告を提供するために割り当てることができる。

【0065】

従って、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つは、同期化信号を生成することができる。

40

【0066】

一方、放送信号は、上述した通り、デジタル放送、または、既存のアナログ放送で使われる信号である。

【0067】

既存のアナログ放送に本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法を適用する場合、同期化信号は、例えば、キュートーン(cue tone)、または字幕データ、音声多重放送データの形態で受信機100に伝送される。

【0068】

50

この場合、受信機100は、キュートーン、字幕データ、或いは音声多重放送データを受信しながら、放送網を通じて同期化信号が伝送されるかどうかを確認する。

【0069】

一方、デジタル放送に本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法を適用する場合、同期化信号はパケット形態で伝送される。受信機100は、前記パケットを信号処理して同期化信号を受信する。一方、デジタル放送においても同期化信号は、キュートーン、字幕データ、または音声多重放送データ形態を取り得る。この場合、受信機100は放送信号を信号処理した後、前記キュートーン、字幕データ、または音声多重放送データが存在する場合、これを同期化信号として認識する。

【0070】

ステップS200について、図4を参照し詳しく説明する。

【0071】

図4は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS200の例示的なフローチャートを示す図面である。

【0072】

図4を参照すると、受信機100は放送信号に含まれた同期化信号を受信する(S210)。また、受信機100は、放送信号が伝送される放送ネットワークとは別の通信ネットワークを通じて同期化信号を受信することもできる(S210)。

【0073】

望ましくは、同期化信号は放送信号に含まれ、受信機100側に伝送される。

【0074】

例えば、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つによって生成された同期化信号は、放送信号に挿入されて受信機100側に伝送される。

【0075】

従って、受信機100は放送信号を受信し信号処理しながら同期化信号を検出するように構成される。

【0076】

または、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体のうち少なくとも一つによって生成された同期化信号は、放送信号が伝送される放送ネットワークとは別の通信ネットワークを通じて受信機100側に伝送されることもある。例えば、通信ネットワークの遅延が小さい場合は、同期化信号は通信ネットワークを通じて伝送される。受信機100はプログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つとの通信接続を通じて同期化信号を受信する。しかし、このような方法は、特に受信機100がプログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つとの通信接続を行う必要があるため、負荷が発生する短所がある。

【0077】

一方、同期化信号は放送信号に挿入されて1回以上、受信機100に伝送される。1回以上同期化信号を伝送することによって、受信エラーのため受信機100が同期化信号を受信できないような不具合を最小限にすることができる。

【0078】

また、通信ネットワークを通じて同期化信号が受信機100に伝送される場合においても、同様にプログラム供給者サーバ200およびネットワーク事業者サーバ300のうち少なくとも一つは、1回以上同期化信号を受信機100に伝送することができる。

【0079】

また図2を参照すると、次に受信機100は、ステップS200で受信した同期化信号を基に個人化広告を提供する(S300)。

【0080】

ステップS300について、図5および図6を参照し、より詳しく説明する。

10

20

30

40

50

【0081】

図5は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS300の例示的なフローチャートを示す図面である。

【0082】

同期化信号は、個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間および持続時間を有することができる。

【0083】

まず、受信機100は、ステップS200を通じて受信した同期化信号から、個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間および持続時間を抽出する(S310)。

【0084】

次に、受信機100は、ステップS310で抽出した開始時間に、ステップS100で予め用意した個人化広告を提供する(S320)。

【0085】

次に、持続時間が経過した後、ステップS320を通じた個人化広告の提供を止め、放送信号を提供する(S330)。

【0086】

望ましくは、放送信号を提供するまでの遅延時間を最小限にするために、ステップS330前に、すなわち、上述した持続時間が経過する前に、放送信号のうち少なくとも一部を受信機100で無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意する(S340)。

【0087】

図5を参照したステップS300の実施例によれば、同期化信号を基に個人化広告の開始時間および持続時間を抽出した後、個人化広告を提供することができる。

【0088】

受信機100は、望ましくは上述した持続時間に適合するよう個人化広告を提供する。

【0089】

例えば、個人化広告が30秒相当の6つの下位広告を含み、持続時間が2分の場合であれば、受信機100は6つの下位広告のうち4つを選択して前記持続時間内に提供することができる。このような選択は、例えば、6つの下位広告の保存順序、受信順序および優先順位に沿って行われる。

【0090】

また、受信機100は、持続時間が経過する前に、放送信号のうち少なくとも一部を受信機100で無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意することができる。例えば、放送信号を受信し信号処理して受信機100のメモリー領域にローディングした後、持続時間が経過すると、即時にメモリー領域から放送信号をローディングし再生することができる。

【0091】

従って、個人化広告を放送信号で切り替えて提供する場合、遅延時間を最小限にすることができる。

【0092】

図6は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、ステップS300の他の例示的なフローチャートを示す図面である。

【0093】

図5を参照するステップS300の実施例では、同期化信号は個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間および持続時間を有することができる。

【0094】

しかし、図6を参照するステップS300の他の実施例では、同期化信号は、個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間を表す第1の同期化信号、および個人化広告を提供することができる時間帯の終了時間を表す第2の同期化信号を含む。

【0095】

10

20

30

40

50

第1の同期化信号は前記開始時間前に、第2の同期化信号は前記終了時間前に、各々受信機100に伝送される。

【0096】

まず、受信機100は、第1の同期化信号から個人化広告を提供することができる時間帯の開始時間を抽出する(S350)。

【0097】

次に、受信機100は、ステップS350で抽出した開始時間に、ステップS100で予め用意した個人化広告を提供する(S360)。

【0098】

次に、第2の同期化信号から個人化広告を提供することができる時間帯の終了時間を抽出する(S370)。ステップS370は、ステップS360の後に図示されているが、ステップS360の前に行われても良い。

10

【0099】

次に、終了時間に個人化広告を提供するのを止め、放送信号を提供する(S380)。

【0100】

望ましくは、放送信号を提供するまでの遅延時間を最小限にするために、ステップS380前に、すなわち、上述した終了時間前に、放送信号のうち少なくとも一部を受信機100で無遅延で提供することができるよう、信号処理して予め用意する(S390)。

【0101】

図6を参照するステップS300の他の実施例では、同期化信号が第1の同期化信号および第2の同期化信号を含むことを除けば、図5を参照するステップS300の実施例と類似している。

20

【0102】

一方、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法は、個人化広告を提供した後、広告費などの精算のために次のステップをさらに有することができる。

【0103】

また、図2を参照すると、受信機100はステップS300を通じて個人化広告を提供した後、内訳情報を保存する(S400)。

【0104】

すなわち、受信機100で視聴者に提供された個人化広告について、例えば、個人化広告の識別情報、個人化広告の提供時間などを内訳情報として記録する。また、内訳情報に受信機100の識別情報をさらに含むこともできる。

30

【0105】

次に、受信機100は、ステップS400を通じて保存した内訳情報を、予め指定された装置に伝送する(S500)。

【0106】

例えば、受信機100は、プログラム供給者サーバ200、ネットワーク事業者サーバ300および個人化広告提供装置400のうち少なくとも一つに、上述した内訳情報を伝送することができる。

40

【0107】

プログラム供給者サーバ200を運営する主体、ネットワーク事業者サーバ300を運営する主体、および個人化広告提供装置400を運営する主体は、上述した内訳情報を基に広告主との予め指定された契約条件などによって、個人化広告に伴う広告費用を精算することができる。

【0108】

一方、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、個人化広告はデータアプリケーションを含むことがある。

【0109】

すなわち、例えば、デジタル放送のデータアプリケーション規格に合ったデータアプリケーションを個人化広告で提供することができる。

50

【0110】

図7は、本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法において、データアプリケーションを提供する方法の例示的なフローチャートの示す図面である。

【0111】

まず、受信機100はデータアプリケーションをバックグラウンド状態で実行する(S100)。

【0112】

データアプリケーションは、例えば、放送信号にカプセル形態に含まれて受信機100側に伝送、或いは、通信ネットワークを通じて受信機100側に伝送される。

【0113】

次に、同期化信号を受信する(S200)。

【0114】

次に、ステップS200で受信した同期化信号を基にデータアプリケーションをフォアグラウンド状態に切り替えて実行する(S300)。

【0115】

次に、使用者の要請、またはデータアプリケーションの提供時間の終了などによって、受信機100はデータアプリケーションの実行を終了し、データアプリケーションをバックグラウンド状態に切り替えるか、消滅(kill)させる(S300)。例えば、データアプリケーションを再実行する必要がある場合は、データアプリケーションをバックグラウンド状態に切り替え、再実行する必要がない場合は、消滅させる。

【0116】

ステップS100、S200、S300、S300については、個人化広告がデータアプリケーションを有することを除けば、図2を参照にする本発明に係る受信機による個人化広告の提供方法を参照することができるため、詳細な説明は省略する。

【0117】

以上、本発明の構成を具体的に説明したが、これは単に本発明を例示的に説明したことに過ぎず、本発明が属する技術分野において通常の知識を持つ者なら、本発明の本質的な特性を逸脱しない範囲で種々変更可能である。

【0118】

従って、本願明細書に開示されている実施例は、本発明を限定するためのものでなく説明するためのものであって、これら実施例によって本発明の思想と範囲が限定されるべきではない。本発明の範囲は以下の請求範囲によって解釈されるべきであり、それと同等な範囲内にある全ての技術は、本発明の権利範囲に含まれると解釈されるべきである。

【産業上の利用可能性】

【0119】

以上説明した通り、本発明によれば、放送信号を受信し提供する受信機によって、同期化信号を基に、個人化広告を無遅延で提供することができる。

【0120】

特に、放送信号を伝送する主体、または放送プログラムを提供する主体は、同期化信号だけを受信機に提供するため、個人化広告のために使われるネットワーク負荷を最小限にすることができる。

【0121】

また、受信機は、個人化された広告を予め用意した後、同期化信号を基に提供することができるため、無遅延で個人化広告を視聴者に提供することができる。すなわち、同期化信号を基に、受信機は正確に個人化広告を行う時間帯域を抽出して、個人化広告を提供することができる。

【0122】

また、データアプリケーションを提供する場合、受信機はデータアプリケーションを予めバックグラウンド状態で実行した後、同期化信号に応じてデータアプリケーションをフォアグラウンド状態に切り替えて実行できるため、データアプリケーションの実行に伴う

10

20

30

40

50

遅延時間を最小限にすることもできる。

【 0 1 2 3 】

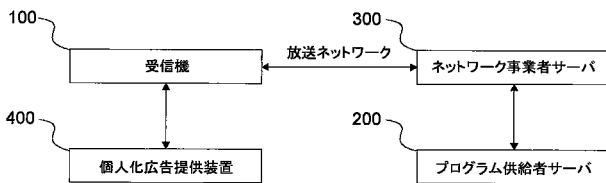
また、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体各々から同期化信号を提供することができるため、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体各々から、各自に割り当てられた広告時間内に個人化広告を視聴者に提供することができる。また、放送信号を伝送する主体および放送プログラムを提供する主体各々から、当該個人化広告の提供に伴う収益を創出することができる。

【符号の説明】

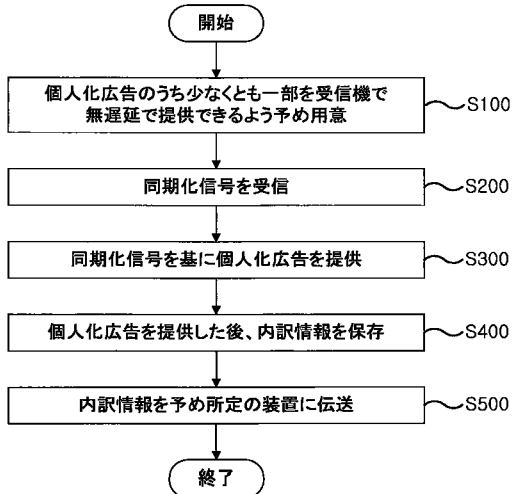
【 0 1 2 4 】

- 1 0 0 : 受信機
- 2 0 0 : プログラム供給者サーバ
- 3 0 0 : ネットワーク事業者サーバ
- 4 0 0 : 個人化広告提供装置

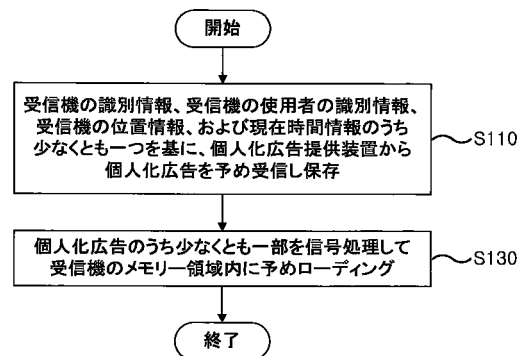
【 図 1 】



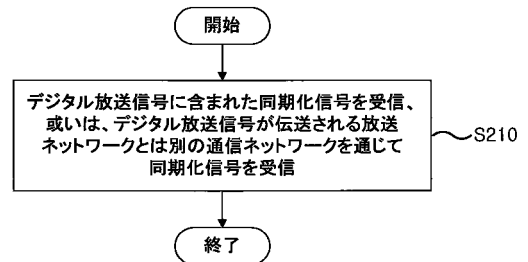
【 図 2 】



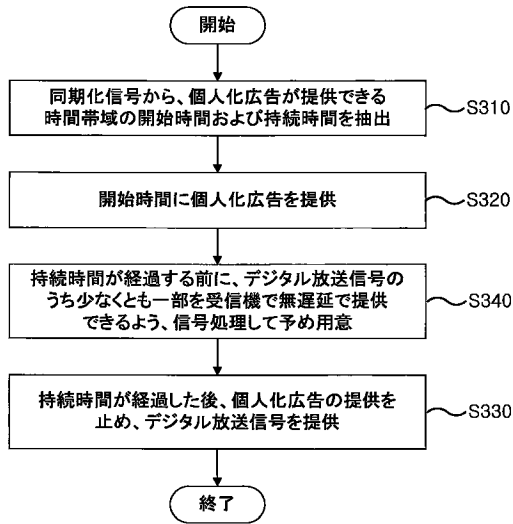
【 図 3 】



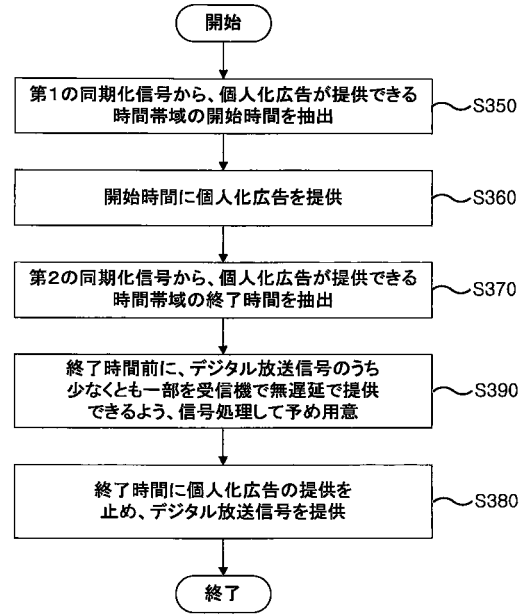
【 図 4 】



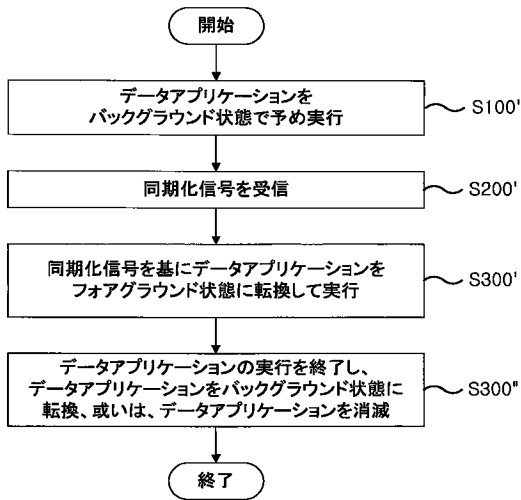
【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】




【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/KR2012/007637

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER G06Q 30/02(2012.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC	
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) G06Q 30/02; H04N 7/08; H04H 60/63; H04H 60/46; H04N 21/437; H04H 60/33; H04N 21/431; H04N 17/00; H04B 1/40; H04H 60/61 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean Utility models and applications for Utility models: IPC as above Japanese Utility models and applications for Utility models: IPC as above Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS (KIPO internal) & Keywords: broadcasting, advertisement, synchronization*, personalization	
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages
Y	KR 10-2006-0095049 A (KTFREETEL CO., LTD.) 30 August 2006 See abstract, figure 1 and claim 1.
Y	KR 10-2011-0049099 A (KOREAN BROADCASTING SYSTEM et al.) 12 May 2011 See abstract, claims 1 and 2.
A	KR 10-2010-0009352 A (LG ELECTRONICS INC.) 27 January 2010 See abstract, figure 5, claims 4 to 6.
A	KR 10-2009-0025609 A (NHN BUSINESS PLATFORM CORP.) 11 March 2009 See abstract, figure 2, claims 1 and 9.
A	KR 10-2008-0086757 A (LG UPLUS CORP.) 26 September 2008 See abstract, figure 2, claims 1 to 3.
A	KR 10-2009-0093709 A (ALTICAST CORPORATION) 02 September 2009 See abstract, figure 1 and claim 1.
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.	
<p>* Special categories of cited documents:</p> <p>"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance</p> <p>"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date</p> <p>"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)</p> <p>"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means</p> <p>"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed</p> <p>"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention</p> <p>"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone</p> <p>"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art</p> <p>"&" document member of the same patent family</p>	
Date of the actual completion of the international search 07 MARCH 2013 (07.03.2013)	Date of mailing of the international search report 07 MARCH 2013 (07.03.2013)
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 139 Seonsa-ro, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/KR2012/007637

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member	Publication date
KR 10-2006-0095049 A	30.08.2006	CN 101120588 A	06.02.2008
		JP 2008-530944 A	07.08.2008
		US 2007-0294722 A1	20.12.2007
		US 7926076 B2	12.04.2011
		WO 2006-091044 A1	31.08.2006
KR 10-2011-0049099 A	12.05.2011	NONE	
KR 10-2010-0009352 A	27.01.2010	NONE	
KR 10-2009-0025609 A	11.03.2009	NONE	
KR 10-2008-0086757 A	26.09.2008	NONE	
KR 10-2009-0093709 A	02.09.2009	NONE	

국제조사보고서		국제출원번호 PCT/KR2012/007637
A. 발명이 속하는 기술분류(국제특허분류(IPC))		
G06Q 30/02(2012.01)!		
B. 조사된 분야		
조사된 최소문헌(국제특허분류를 기재) G06Q 30/02; H04N 7/08; H04H 60/63; H04H 60/46; H04N 21/437; H04H 60/33; H04N 21/431; H04N 17/00; H04B 1/40; H04H 60/61		
조사된 기술분야에 속하는 최소문헌 이외의 문헌 한국특실용신안공보 및 한국공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC 일본특실용신안공보 및 일본공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC		
국제조사에 이용된 전산 데이터베이스(데이터베이스의 명칭 및 검색어(해당하는 경우)) eKOMPASS(특허청 내부 검색시스템) & 키워드: 방송, 광고, 동기*, 개인화		
C. 관련 문헌		
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항
Y	KR 10-2006-0095049 A (주식회사 케이티프리텔) 2006.08.30 요약, 도면 1 및 청구항 제1항 참조.	1-17
Y	KR 10-2011-0049099 A (한국방송공사 외 1명) 2011.05.12 요약, 청구항 제1항 및 제2항 참조.	1-17
A	KR 10-2010-0009352 A (엘지전자 주식회사) 2010.01.27 요약, 도면 5, 청구항 제4항 내지 제6항 참조.	1-17
A	KR 10-2009-0025609 A (엔에이치엔(주)) 2009.03.11 요약, 도면 2, 청구항 제1항 및 제9항 참조.	1-17
A	KR 10-2008-0086757 A (주식회사 엘지텔레콤) 2008.09.26 요약, 도면 2, 청구항 제1항 내지 제3항 참조.	1-17
A	KR 10-2009-0093709 A (주식회사 알티캐스트) 2009.09.02 요약, 도면 1 및 청구항 제1항 참조.	1-17
<input type="checkbox"/> 추가 문헌이 C(계속)에 기재되어 있습니다. <input checked="" type="checkbox"/> 대응특허에 관한 별지를 참조하십시오.		
* 인용된 문헌의 특별 카테고리: "A" 특별히 관련이 없는 것으로 보이는 일반적인 기술수준을 정의한 문헌 "E" 국제출원일보다 빠른 출원일 또는 우선일을 가지나 국제출원일 이후에 공개된 선출원 또는 특허 문헌 "L" 우선권 주장에 의문을 제기하는 문헌 또는 다른 인용문헌의 공개일 또는 다른 특별한 이유(이슈를 명시)를 밝히기 위하여 인용된 문헌 "O" 구두 개시, 사용, 전시 또는 기타 수단을 언급하고 있는 문헌 "P" 우선일 이후에 공개되었으나 국제출원일 이전에 공개된 문헌 "T" 국제출원일 또는 우선일 후에 공개된 문헌으로, 출원과 상충하지 않으며 발명의 기초가 되는 원리나 이론을 이해하기 위해 인용된 문헌 "X" 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌 하나만으로 청구된 발명의 신규성 또는 진보성이 없는 것으로 본다. "Y" 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌이 하나 이상의 다른 문헌과 조합하는 경우로 그 조합이 당업자에게 자명한 경우 청구된 발명은 진보성이 없는 것으로 본다. "&" 동일한 대응특허문헌에 속하는 문헌		
국제조사의 실제 완료일 2013년 03월 07일 (07.03.2013)		국제조사보고서 발송일 2013년 03월 07일 (07.03.2013)
ISA/KR의 명칭 및 우편주소 대한민국 특허청 (302-701) 대전광역시 서구 청사로 189, 4동 (둔산동, 정부대전청사) 팩스 번호 82-42-472-7140		심사관 김은수 전화번호 82-42-481-8680

국제조사보고서
대응특허에 관한 정보

국제출원번호
PCT/KR2012/007637

국제조사보고서에서 인용된 특허문헌	공개일	대응특허문헌	공개일
KR 10-2006-0095049 A	2006.08.30	CN 101120588 A JP 2008-530944 A US 2007-0294722 A1 US 7926076 B2 WO 2006-091044 A1	2008.02.06 2008.08.07 2007.12.20 2011.04.12 2006.08.31
KR 10-2011-0049099 A	2011.05.12	없음	
KR 10-2010-0009352 A	2010.01.27	없음	
KR 10-2009-0025609 A	2009.03.11	없음	
KR 10-2008-0086757 A	2008.09.26	없음	
KR 10-2009-0093709 A	2009.09.02	없음	

フロントページの続き

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 H 60/13 (2008.01)	H 0 4 H 60/13	
H 0 4 H 60/82 (2008.01)	H 0 4 H 60/82	
H 0 4 H 60/27 (2008.01)	H 0 4 H 60/27	

(81) 指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN